

【サステナビリティ基本方針】

当社グループは、「挑戦」「多様性」「持続可能性」を、すべての事業を行う上で最も大切にしている価値観として捉えており、企業の社会的責任を果たしていくことはもちろんのこと、環境・経済・社会の課題解決と事業による経済的価値の創造の両立、すなわちC S V（社会と企業の共通価値の創造）を意識した活動を通じて、自社と社会の持続的な発展を目指し、社会から認められるサステナブル企業として中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

2024 年 10 月の完全統合を前に、当社サステナビリティ推進委員会では、日新製糖株式会社および伊藤忠製糖株式会社のサステナビリティ推進委員会や関係部署と連携して、当社のパーパス・事業戦略等を念頭に置きながら、消費者やユーザーをはじめ、サプライチェーン、環境、従業員といった様々なステークホルダーの各種課題を“Well-being”に注目して整理し、最終的に5つのマテリアリティ（重要課題）として特定いたしました。今後は、それぞれのマテリアリティに設定したKGI（重要目標達成指標）の実現に向けて、KPI（重要業績評価指標）および各年度における行動計画を策定し、それらを意識しながら事業活動を行い、役員・従業員が一丸となってPDCAサイクルを回すことで、様々なステークホルダーの“Well-being”実現に向けて取り組んでまいります。

マテリアリティ	KGI	対応する SDGs
食と健康の課題解決による生活品質の向上	おいしさや健康の両立に役立つ製品・サービスの提供によって消費者の“Well-being”に貢献	 
多様な人材が活躍できる職場の実現	職場環境の整備やエンゲージメント向上施策を通じて従業員の“Well-being”を実現	 
安全で高品質な製品の安定供給	安全で高品質な製品の安定供給によってお客様の“Well-being”を実現	 
従業員やサプライチェーンの人権尊重	従業員やサプライチェーンの“Well-being”を守る	 
自然との共生	自然環境の“Well-being”への責任を自覚	  

【サステナビリティ推進体制】

当社は、「サステナビリティ推進委員会」を設置し、サステナビリティへの取組を全社的に検討・推進しております。

また、「コンプライアンス委員会」「リスク管理委員会」と有機的に連動することにより社会から信頼される企業としてガバナンス体制を徹底してまいります。

サステナビリティ推進委員会は、代表取締役を委員長、関連部門の担当執行役員を中心とする委員をメンバーとし、解決すべき社会的課題（ESG 関連事項等）について、当社の事業活動を通じて持続可能な社会の実現および企業価値の向上を目指すため、サステナビリティに関する全社方針、目標、基本計画の策定、それらを実践するための体制の構築・整備、具体的な施策の決定、各種施策のモニタリングを行うとともに、各種施策の進捗を適宜取締役会に報告します。重要な事項については、サステナビリティ推進委員会で審議・決定の上、取締役会で審議・決議します。